

ピレリ・スーパー耐久シリーズ 2019
第5戦 ツインリンクもてぎ



東 徹次郎
TOHJIRO AZUMA

公式予選（9月14日）

◆Weather：曇り ◆Course：ドライ

今回いろいろセットアップに悩んできた週末でしたが、前日の最後の専有走行と、予選前のプラクティスでは良いタイムとフィーリングで終わっていたので、自分としては自信を持って予選を迎えることが出来ました。

Aドライバー予選だけ日が差し、路面温度も高い状態で始まりました。今回ピットの位置が真ん中だったので、コースインしてすぐに位置取りだけ気を付けてタイヤに熱を入れていきました。

最初のアタックラップは間隔を開けていたにも関わらず13号車に3コーナーのブレーキで追い付いてしまったので、すぐに止めて大きく間隔を開けなおしました。

そして次のラップから単独で2ラップアタックします。フィーリング的には少しリアのトラクションが午前のプラクティスよりも少ない気はしましたが、それでもそこまで大きくバランスは悪くありません。2アタックした後に、クールラップを入れて再度1アタックしましたが、自分が想定していたよりも全然タイムが伸びず3計測とも2分13秒台でした。自分としては悔しい内容で、クラス5位でAドライバー予選を終えます。

Bドライバー予選は逆に日が遮られて気温も少し下がったので、周囲も含め全体的に速いタイムが出ていました。

DAISUKE選手は今回も予選で大きく自己ベストタイムを更新し、クラス8位で予選を終えました。

これにより、合算でクラス7位となりました。

Cドライバーのハマダ選手、Dドライバーの小高選手も順調に予選をクリアし、無事に予選を終えることが出来ました。

予選結果：7位 4'28.051 (A・B合算タイム)

A：2'13.715 B:2'14.336

決勝（9月15日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

この週末を通して最も気温の高い決勝日となりました。
今回のレースは DAISUKE 選手がスタートを担当します。
1周目に13号車がリタイアし、尚且つすぐに5号車もパスしたことで、クラス5位でハマダ選手へと交代します。

ハマダ選手も順調に走行し、自分は3ステイント目を担当しました。
ハマダ選手との交代の際に若干ピットイン時にロスがあり、自分がコースインした際はクラス7位か8位くらいでした。
ここから1時間半のステイントとなります。

この週末を通して自分は初めてフル満タンの重い状態で乗りました。
レースもまだ3時間ちょっと残っているなので、とにかくブレーキとミッションを労わりながら走行しました。

また、この週末自分の中で課題にしていたアクセルの踏み始めを意識し、走行していました。

ちょうど前にトップ争いをしていた86号車がいたのですが、途中ついて行けていたのでペースは安定していて悪くなかったと思います。

バランス的にはアンダーオーバー気味ではありましたが2分16秒前半のペースで安定していたので、一発は無くとも安定感のあるマシンでした。

かなり気温も上がって過酷ではありましたがクールスーツも効いていたので体力的にも全く問題無く、クラス5位まで上がって自分のステイントを終えることが出来ました。

そして残りの1時間半を小高選手に託します。

夕方になり気温も下がってきて周りがタイムを上げていくなか、小高選手もペースを上げていきます。

そして今回は大きなトラブルも無く、スタート時よりポジションを上げ、クラス5位でレースを終えました。

決勝結果：5位（自己ベストタイム：2'16.026）

反省

今回マシンのセットアップには悩みました。リアのバネを柔らかめの方向で進めていきましたが、決勝のように路面コンディションが上がった際には少し外していた気がしました。次回の岡山ラウンドでは今回の反省も踏まえ、速いマシンを作れるようにまたチームと力を合わせていきたいと思います。

予選の走りはログーで見ると全体的に少し進入で行き過ぎの傾向で、結果的にロスしていました。

また、今回自分のドライビングスタイルはどうしてもアクセルオンの際の一発目が強過ぎる傾向にあったので、決勝中は特に意識して走りました。

ドライビング面でもいろいろ気付くことの出来た週末になったので、引き続き初心に帰ってアクセルワークを中心に速く走らせるということを更に意識して自分の向上に努めていきます。

ただ、決勝中非常に安定したペースを刻めたことは良かったと思います。



最後に

今回のレースもたくさんのご支援ご声援、有難うございました。
もてぎということもあり、現地に応援に来て頂いた方々、暑い中本当に有難うございました。

今回はトラブルも無く終わることが出来ましたが、表彰台にまた届きませんでした。

上位3台はラインナップ的にも全員プロドライバーなので、必ずその牙城を崩したいと思います。

そしていよいよ今年 SUPER 耐久としてはラスト1レースとなります。

次戦は11月9日、10日に岡山国際サーキットで開催です。

今年の集大成としてベストリザルトを残せるよう、全力で頑張ります。

どうぞ今後とも御支援御声援の程、宜しくお願い致します。

2019年9月20日

東 徹次郎

